

## CHAPTER 05

---

# 刊行物

### (教育資材・成果物・報告書等)

①運動器という言葉の定着、②運動器が健全であることの重要性の啓発、③運動器疾患・障害の早期発見と予防体制の確立——この3つの基本目標を実現するべく、当協会ではさまざまな刊行物を制作および監修してきました。ここではその主な教育資材・成果物・報告書等をご紹介します。



『マンガ 運動器のおはなし 大人も知らないからだの本』

発行年月日 2005年5月第1版・2013年1月第2版

『マンガ 運動器のおはなし 大人も知らないからだの本』(英語版)

発行年月日 2005年9月

子どもたちに運動器と運動の重要性を啓発し、終生健康やかに身体を動かすことができ、「生活・人生の質(QOL)」が保証される社会を実現すべく、東京大学教育学部の学生の皆さんにより構成・執筆し、編集されたものです。特別賛助会員・エーザイ株式会社の協力により、これまで約20万部を全国の小・中学校などに配布しました。また、できるだけ多くの皆さんにご覧いただけるよう、都道府県立および政令指定都市の図書館に寄贈しました。

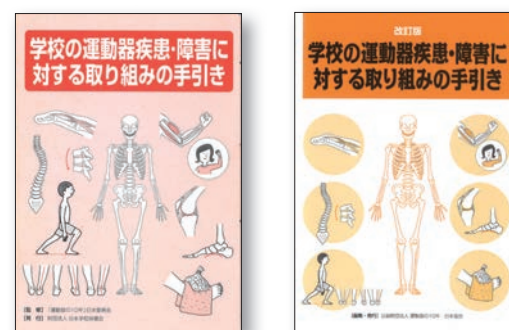
2005年カナダで行われた世界会議でマンガの英訳版ポスターと4頁のリーフレットを展示したところ、各国の称賛を得て、全ページの翻訳が望まれたため、2007年に英語版『A Book on BODY FACTS』を発行しました。



『学校の運動器疾患・障害に対する取り組みの手引き』

発行年月日 2009年3月31日・第1版、2015年2月1日・第2版、2016年4月1日・第3版、2019年6月15日・第4版

児童生徒の心身の健全な成長・発達のためには、年齢に応じた適切な質(種類)と量(強度・時間・頻度)の運動・スポーツの実践が必要です。児童生徒が、運動器と運動を大切に、運動器疾患・障害を早期に発見して治療するとともに、その予防ができること、ひいては健康な生涯に結び付けられることを希望して、本手引きを企画・刊行しました。また、2016年4月1日からは、学校での児童生徒の健康診断において、運動器の状態を検査することが必須化され、脊柱のほか、四肢の骨・関節の機能を確認し、必要な事後措置が行われる仕組みが始まり、これまで以上に、児童生徒の運動器疾患・障害についての正しい知識・情報が普及される必要があると判断され、2015年に当協会では本手引きの改訂版を刊行しました。



第1版

第2・3版



第4版

『「運動器の10年」世界運動10年達成記念誌』

発行年月日 2011年4月1日

「運動器の10年」日本委員会が発足して10年達成記念式典を執り行うとともに、この記念誌が発刊されました。10年間のあゆみと、会員団体の寄稿が掲載されています。



『少年野球選手のためのストレッチング9』

発行年月日 2016年7月

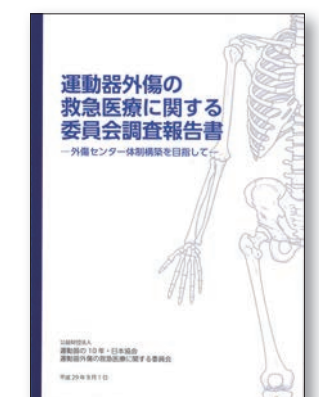
成長期のスポーツ外傷予防委員会の理学療法部門担当の坂本雅昭委員(当時)が中心となって、9つのストレッチの基本動作のDVD『少年野球選手のためのストレッチング9』を制作。小学生野球選手をモデルに、解説を加えた第1部(11分47秒)と自然のスピードで編集した第2部(5分5秒)を制作しました。DVDは2016年7月に完成、実態調査協力の412チームに贈呈しました。



『運動器外傷の救急医療に関する委員会調査報告書』

発行年月日 2017年9月1日

運動器外傷の救急医療に関する委員会が、2011年から2013年に諸外国の外傷診療体制の調査と韓国・香港・オーストラリアの外傷センターの視察を行いました。本報告書にはその調査・視察報告とそれを踏まえたわが国の運動器外傷診療の質向上のための提言が述べられています。



『学校の運動器検診 子どもの身体と障害の診かた』

発行年月日 2018年6月1日 初版

学校の定期健康診断に、2016年4月から新たに運動器検診として四肢の状態を診る項目が加えられました。本書ではその身体診察のポイントと、スクリーニングにより来院する子どもの運動障害の診かたを図や写真を多用してわかりやすく解説することを目的として運動器の健康・日本協会監修により、中外医学社から刊行されました。



## 『二次骨折予防手帖』

発行年月日 2020年8月

脆弱性骨折委員会では骨折の連鎖を防ぐための実用的な患者向け資料として本手帖を作成しました。各委員の経験をもとにやさしくわかりやすい手帖になっています。スタッフ間の情報共有と患者さん家族への教育に利用していただき、二次骨折予防の普及に役立つことを期待しています。



## 『学校における運動器検診体制の整備・充実事業に関わる資料集成Ⅱ』

発行年月日 2021年3月10日

「運動器検診体制の整備・充実事業」は、当協会が2005年度の主要事業の一つとして、「学校における運動器検診体制の整備・充実事業に関わるモデル事業」を立ち上げ、全国各地で学校・スポーツ現場における運動器疾患の早期発見・治療・予防のための体制整備に向けた調査研究活動が継続されました。『資料集成』は、2005年度から2014年度までの資料、『資料集成Ⅱ』には、運動器検診のスタートを目前に控えた2015年度から2020年度までの資料が掲載されています。



資料集成Ⅱ



『学校における運動器検診体制の整備・充実事業に関わる資料集成』  
発行年月日 2015年10月8日

## 『協会リーフレット』

2011年より、協会の目的や事業内容および会員等を紹介したリーフレットを随時、更新&作成してきました。

